

令和4年度 志木教会附属泉幼稚園 自己評価結果公表シート

2023年6月30日

1. 本園の教育目標

キリスト教保育を実践する幼稚園として以下の基本的な教育目標を掲げる。

- 1) イエス様と共に生活する子どもになれるように導く。
- 2) 思いやり、感謝、あたたかい心を育て、心の動きを大切にする。
- 3) 一人一人の長所を認め、受けいれられているという安定感を持てるように接する。
- 4) 楽しい遊びを通して、自分で考え、判断し、行動できるように導く。

2. 令和4年度、重点的に取り組む目標・計画

園の教育理念・教育方針の下、その教育目標に従いつつ、個々の園児に寄り添いその成長に仕える。

- 1) キリスト教保育の理念や実際を、個々の園児の成長目標に沿って当てはめ、適切な声かけをしていくようにする。ICTのコドモンの導入に慣れ、保護者とのコミュニケーションやドキュメントのデジタル化を進める。
- 2) 防災・防犯に関わる訓練、無事故を目標に学校安全の歩みを進める。標準時間の保育と、預かり保育における保育のあり方にずれがないように、担当者間の連携をしっかりとする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
1)コドモンの導入による園関係者間のコミュニケーションの向上	A	新しい ICT システムの導入により、保育者と保護者、保育者間の連絡、ドキュメントのデジタル化を進める。
2)コロナ禍における適切な保育活動を探り求め、実践する。	A	今後も With コロナ期間が継続することを見据えつつ、感染予防に関わる適切な判断をしつつ、子ども達に大切な保育活動の充実を探り実践する。
3)園内研修と園外研修の積極的な取り組み	B	長期休業中だけでなく、学期中も園外研修ができるような保育体制を整えつつ、積極的に研修を受ける。
4)満3才児(すみれ組)の保育のあり方を探る	B	ここ数年満3歳児入園の数が増えている。3歳児クラス(もみじ組)とは個別の活動を計画し実行する。
5)防災・防犯・無事故のための危機管理をすすめる。	A	園児との避難訓練や、災害時等の保護者への引き渡し訓練、教師のさすまた等を用いた不審者に対する訓練や対応、遊具の点検、学校安全のマニュアルを再検討等しつつ、保育者間の連携を深める。預かり保育(おるすばん保育)の時間帯における訓練もすすめる。
6)預かり保育のあり方を再検討する。	A	預かり保育(おるすばん保育)を利用する保護者が増加している。標準時間保育でなされている教育を、預かり保育でも継続すること、異年齢同時保育の課題を確認し対策を練る。

7) 歌うことを喜び、人前で自信をもって歌う	B	人前で歌う機会を増やすことを通して、自信をもって歌えるようになり、歌うことを喜び楽しむことができるようにしていく。
8) 保護者と連携して食育を充実させる	B	様々な機会を通して食育の大切さを発信し、各園児の偏食傾向を是正できるように取り組む。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍3年目にあって、徐々に園の行事を例年通りに戻し、With コロナ時代での園活動のあり方を経験的に習得していくことができた。地震・火災に関わる避難訓練や、地震時における引き渡訓練等を行うことができたこと、さらに預かり保育の時間帯における避難訓練も出来、目標をほぼ達成できた。園の基本的な保育理念を預かり保育担当者達と共有する取り組みがしっかり出来たと思う。保育者の研修については、さらに計画的に実行できるようにしたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的取り組み方法
1) コドモンによる諸連絡やドキュメンテーションの方法をさらに習得し業務の効率化を向上させる。	昨年度 6 月から本格導入したコドモンの諸機能にまだ慣れていないところがあるので、各教師の習得率を上げること。それによって業務の効率化を挙げて、時間外労働を減少させる。
2) 処遇改善Ⅱに関わる研修を進め、園全体の保育の質の向上を目指す。	処遇改善Ⅱに関わる研修のマネジメントの学び(15 時間)を通して、園全体の様々な領域のマネジメントに関わる改善を計る
3) 園内研修と園外研修の積極的な取り組み	過去3年間は、コロナ化で研修に出掛ける機会があまり取れなかったため、今年度は研修の機会を増やしたい。
4) 地域の子育て支援の視点から未就園児クラスの活動を充実させる。	泉幼稚園の保育の良さを、地域に様々な機会を通して発信し、地域の子育て支援の視点から、現在の未就園児クラスを再検討し、より多くの親子に来ていただけるようにする。
5) 不審者侵入に対する対応訓練、設備の充実	地震や火災等への対応は、定期的に行われ園としての対応も整えられてきたが、不審者の侵入に対する予防、設備、避難等が不十分なので、この領域に関わる研修・訓練・整備を進める。
6) 救急手当等の医療に関わる保育者の知識と対応力を向上させる。	園活動における日常茶飯事の怪我や打撲、命に関わる重大事故等に対する医療に関わる研修をする。学校保健と安全に関わる取り組みをさらに進める。
7) 歌うことを喜び、人前で自信をもって歌う	人前で歌う機会を増やすことを通して、自信をもって歌えるようになり、歌うことを喜び楽しむことができるようにしていく。
8) 保護者と連携して食育を充実させる	様々な機会を通して食育の大切さを発信し、各園児の偏食傾向を是正できるように取り組む。また、年長クラスの料理の実践、野菜作りを通して食についての理解を深める。